

## 育成したい資質・能力について

### ○学校全体で育成したい資質・能力

① 様々な場面での経験を振り返り、より豊かな人生を目指して主体的に行動する力
② 対話や議論を通じ、思考を深め、多様な人々と協働する力
③ 先人の考えを理解し、社会との関わりを意識して新しいものを創造する力

### ○教科で育成したい資質・能力

教科	育成したい資質・能力
国語科	①課題設定や探究方法の創造を行うために必要な、論理的思考の基礎力 ◇他者の考えを理解する力 ◇自分の考えを表現する力 ◇自分の考えの道筋を振り返り、他の作品やことさらに応用する力 ②協議に必要なコミュニケーションの基礎力 ◇共有している認識を確認し、応用し発展させる力 ◇個人の知識を他者と共有し認める力
地歴 公民科	①多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力 ②能動的に課題に取り組み、協働的に考えを進める力 ③学んだことを活用し、解決策を考える力
数学科	①課題解決のために必要な実践力 ◇環境、状況を把握し、プライオリティ（優先順位）を意識してセルフコントロールする力 ◇前向きに取り組める自己指導力 ②問題解決に必要なコミュニケーション力 ◇自分の考え、根拠を説明する力 ◇他者の考えを理解する力 ③課題解決のために必要な論理的思考力 ◇教科書の公式や解法を先人の取り組みとして正しく理解する力（道具） ◇目的、視点、見通し、手法のスマールステップを理解する力（使い方）
理科	①課題設定や探究方法の創造を行うために必要な、論理的思考の基礎力 ◇教科書を先人の取り組みとして正しく理解する力 ◇目的、視点、仮説、手法のスマールステップを理解する力 ◇教科書の内容や自然現象に疑問を持ち、知識や手法をつなぎ合わせて理解する力 ②協議に必要なコミュニケーションの基礎力 ◇実験の「仮説」「考察」をグループで話し合う力 ◇根拠を示す力

<b>保 健 体育科</b>	<p>生涯にわたり健康で豊かなライフスタイルを実現するための基礎を養う。</p> <p><b>保 健</b>：現代社会の健康課題や自らのライフステージにおける健康・安全について、主体的に学び、健康の保持増進に向けて意思決定・行動選択ができる資質と能力を養う。</p> <p><b>体 育</b>：運動やスポーツを仲間と楽しく協働しながら運動技能の向上と体力の向上を図り、生涯にわたって合理的・計画的にスポーツライフを継続できる力を養う。</p>
<b>芸術科</b>	<p>①生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる</p> <p>古典的な芸術作品・表現活動を取り扱うだけでなく、多様な観点から芸術に対して主体的にかかわっていくことを基本としていく。特に iPad をはじめとした ICT を活用したデジタル表現にも取り組んでいく。</p> <p>②感性を高め、能力を伸ばす</p> <p>心の教育に関わっている教科という認識のもと、技術的な面の伸長を図るだけではなく、芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、自ら表現し、創造的な能力を高める。</p> <p>③芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う</p> <p>一定の材料・技術・方法・様式などによって美を追究・表現しようとする活動など、精神の働きによって作りだされた有形・無形の成果の総体に対する理解を深め、愛着をもち、それらを尊重する態度の育成を重視する。</p>
<b>英語科</b>	<p>①主体的・自律的なコミュニケーションをするために様々な場面で英語に触れるなど、自立した学習態度・方法を身に付け、4技能のバランスの取れた力を育成する。</p> <p>②多様な人々と協働するため、英語による対話や議論などのコミュニケーション活動を通じて、他者の意見を理解したり、自分の意見を相手に伝える力を育成する。</p> <p>③他者や社会と関われるようにするために、主体的・対話的で協働的な学びを通じて自分の考えを深化させ、集団に貢献できる力を育成する。</p>
<b>家庭科</b>	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的活動を通して、様々な人々と協働し、持続可能な社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>①コミュニケーションを通して、意見の共有や議論ができる力</p> <p>②生涯を見通して生活の課題を解決する力</p> <p>◇知識や概念・スキルを統合して活用・応用ができる（使いこなす・活かす）</p> <p>◇教科と生活を結びつけて考え、生活の中で実践し評価・改善することができる</p> <p>③社会に貢献しようとする力</p>
<b>情報科</b>	<p>①情報活用の実践力</p> <p>◇身近な情報からデータを収集、作成を行い、課題や目的に適した情報手段は何かを判断し、主体的に情報活用ができる力</p> <p>②情報社会の課題・問題解決能力</p> <p>◇情報活用の基礎や情報技術を学び、情報社会におけるコンピュータの仕組み、個人情報、ネットワーク等についての理解</p> <p>③高度情報社会に参画する態度</p> <p>◇身近な日常生活、社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割の理解</p> <p>◇自らが情報を活用し、進化し続ける情報社会の創造に参画しようとする態度</p>